

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		就学時健康診断事業	担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	学校教育の充実	種別	法定事務
	基本事業	健康と体力を育む教育の推進	市民協働	その他
予算科目コード	01-100102-04 単独	根拠法令・条例等	学校保健安全法第11条	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 毎年10～11月に市立各小学校において、新年度の就学予定者の健康診断を行う。（視力、聴力、内科検診（眼病疾病異常の有無，耳鼻咽喉疾患の有無を含む），歯科口腔の異常有無，知能検査）
学校保健安全法第11条に基づく健康診断	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
新年度の小学校就学予定者の心身の状況を把握し，必要な治療の勧告や保健上の助言を行うことで，健康で就学できるようにする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒の健やかな身体を育む。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
未受診者が出ないよう，対象者には漏れなく通知する。	8月中旬に案内を個別に発送する。 また，7月上旬には守谷市のホームページ及び市内幼稚園・保育園を通して健診の日程を周知する。
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
対象児童の保護者が，情報を得やすいようにする。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	知能検査一式，健康診断票，講師謝金は例年必要な経費であり，削減することができないため。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
8月末に対象家庭に健診実施のお知らせをきれなく送付した。また、都合により学校で健康診断を受けることができなかった児童は、市内医療機関で受診するよう案内をすることで、受診もれ者がでないようにした。	8月中旬に対象家庭に健診実施のお知らせをきれなく送付した。さらに、7月には近隣の幼稚園・保育園及び守谷市のホームページ、9月には広報でも健診の情報を発信し、周知の徹底を図った。 また、都合により学校で健康診断を受けることができなかった児童は、市内医療機関で受診するよう案内をすることで、受診もれ者がでないようにした。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
就学前健康診断受診率（％）	100.00	100.00	100.00	0.00	100.00
入学前までに改善が必要な幼児数（人）	313.00	215.00	215.00	0.00	274.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	昨年度に引き続き、健康診断をもれなく受けてもらうために、対象家庭への周知を行ったため。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	今年度は、健康診断の案内を各家庭に郵送するほか、守谷市のホームページ等でも健診の周知を行った。次年度以降も、対象者が健診の情報を入手しやすいように様々な媒体での周知を図っていく。				

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	285	287	280	335	335
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	285	287	280	335	335
正職員人工数（時間数）		206.00	320.00	118.00	0.00	0.00
正職員人件費		845	1,312	493	0	0
トータルコスト		1,130	1,599	773	335	335

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		児童・教職員検診事業	担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	学校教育の充実	種別	法定事務
	基本事業	健康と体力を育む教育の推進	市民協働	その他
予算科目コード	01-100201-05 単独	根拠法令・条例等	学校教育法第12条 学校保健安全法第13条, 第15条	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） ○児童健康診断 内科健診，四肢の状態，色覚検査，腎臓検診，心臓検診，小児生活習慣病検診，結核精密検診 ○教職員健康診断 内科健診，結核検診，心臓検診，胃検診，腎臓検診，貧血検診，血圧検査，生化学検査，腹囲測定，検便
学校教育法第12条及び学校保健安全法第13条・第15条に基づく児童，職員の健康診断の義務付けにより実施した。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市立小学校の児童・教職員の健康診断を実施し，健康状態の把握・異常疾病等の早期発見により，健康保持増進を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒の健やかな身体を育む。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	5,267	5,610	5,578	6,283	6,283
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,267	5,610	5,578	6,283	6,283
正職員人工数（時間数）		8.00	35.00	8.00	0.00	0.00
正職員人件費		33	144	33	0	0
トータルコスト		5,300	5,754	5,611	6,283	6,283

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		生徒・教職員検診事業	担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	年度～
	施策	学校教育の充実	種別	法定事務
	基本事業	健康と体力を育む教育の推進	市民協働	その他
予算科目コード	01-100301-06 単独	根拠法令・条例等	学校教育法第12条 学校保健安全法第13条, 第15条	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
学校教育法第12条及び学校保健安全法第13条・第15条に基づく児童，職員の健康診断の義務付けにより実施した。	○生徒健康診断 内科健診，四肢の状態，色覚検査，腎臓検診，心臓検診，小児生活習慣病検診，結核精密検診，貧血検査 ○教職員健康診断 内科健診，結核検診，心臓検診，胃検診，腎臓検診，貧血検診，血圧検査，生化学検査，腹囲測定，検便
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市立中学校の生徒・教職員の健康診断を実施し，健康状態の把握・異常疾病等の早期発見により，健康保持増進を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒の健やかな身体を育む。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	3,998	4,033	3,881	4,558	4,558
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	3,998	4,033	3,881	4,558	4,558
正職員人工数（時間数）		7.00	24.00	8.00	0.00	0.00
正職員人件費		29	98	33	0	0
トータルコスト		4,027	4,131	3,914	4,558	4,558

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		中学校体育大会事業	担当課	学校教育課
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和60年度～
	施策	学校教育の充実	種別	任意的事務
	基本事業	健康と体力を育む教育の推進	市民協働	その他
予算科目コード		01-100302-05 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 中学校体育大会の開催経費，県中学校体育連盟大会，関東及び全国大会への参加経費を補助する。
中学校体育連盟主催の大会事業及び関東，全国規模の各種大会への参加に必要な経費の一部を支出することで保護者の負担軽減による部活動の活発化を図る。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
中学校における体育・スポーツの健全なる普及及び発達に資するとともに，学校間のスポーツ交流を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒の健やかな身体を育む。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
補助の対象となる大会の経費について，漏れなく補助をする。	中学校と情報を共有し，経費補助の事務を円滑に進める。（7月～11月）
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
補助の対象となる大会について迅速に把握し，余裕を持って経費補助の事務作業を進める。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■ 増加 □ 維持 □ 削減	守谷市長杯バスケットボール大会を主催するに当たり，消耗品費を増額したため。

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）
継続して合理的かつ最小限の支出の徹底を図った。見学・応援部員のバス代等は、昨年度から引き続き負担した。	継続して合理的かつ最小限の支出の徹底を図った。見学・応援部員のバス代等は、昨年度から引き続き負担した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
大会に参加した生徒数（人）	682.00	1,230.00	1,272.00	0.00	1,230.00
負担金額（円）	10,505.00	20,033.00	232,000.00	0.00	20,033.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	継続して合理的かつ最小限の支出の徹底を図った。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	継続して合理的かつ最小限の支出の徹底を図った。				

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	13,346	15,499	19,335	17,966	18,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	793	100	1,195	60	60
	一般財源	12,553	15,399	18,140	17,906	17,940
正職員人工数（時間数）		65.00	101.00	87.00	0.00	0.00
正職員人件費		267	414	363	0	0
トータルコスト		13,613	15,913	19,698	17,966	18,000

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		給食提供事業	担当課	学校給食センター
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち	計画期間	昭和44年度～
	施策	学校教育の充実	種別	法定事務
	基本事業	健康と体力を育む教育の推進	市民協働	その他
予算科目コード	01-100104-04 単独	根拠法令・条例等	学校給食法，守谷市立学校給食センターの設置及び職員に関する条例，守谷市立学校給食センター管理規則	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？

背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
学校給食法に基づき、児童・生徒の食生活の向上と均等が図れた給食を提供するため、昭和44年4月から実施した。	児童・生徒の心身の健全な発達のためのバランスの取れた食事の提供と健康教育の一環としての学校給食の充実を図ることを目的とし、献立の作成から、食材の購入、調理を行う。 調理及び配送については、平成20年9月から民間業者への業務委託にて行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
栄養バランスの取れた給食の提供を通して、市立小中学校の児童・生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と健全な食生活を営むことができる判断力を養う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒の健やかな身体を育む。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）

目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
現在使用している食器は，トレーに直接おかず（主菜と副菜）を盛り付ける形状になっており，食器を手にとって食べることができないため，食育上好ましくない。	平成30年度 食器の配置パターン及び素材の調査 変更した場合，コンテナ，トラック，配膳室への影響調査 平成31年度 新しい食器の決定 以降，新給食センターの稼働に併せて変更
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
食器のパターンや材質を研究し，関係者と相談して，食育上好ましい食器を検討し，新給食センターの稼働に併せて変更する。	

次年度のコストの方向性（→その理由）

■増加 □維持 □削減	来年度から2学期制となるため，給食の提供日数が増えるため。また，増税による食材賄費が増加するため。 ※ 食器の買い替えは，給食センター改築事業の中で一括して行うため，当該事業の中に予算は無い。
-------------------	---

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度を取組（評価、課題への対応）
食材費が上がっており、給食費の値上げを検討する必要がある。	給食センター運営委員会において、来年度に給食費の値上げについての協議をお願いすることを打診した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
年間給食予定日数に対する実施日数の割合（％）	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
一部の献立の提供を中止した回数（回）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下		毎日の給食提供のほか、食材や季節の行事等を紹介する栄養指導資料を各学校に配布するなどし、学校給食の理解を深めてもらうよう努めているが、食材費の値上がりや、現施設での調理能力は飽和状態にあることから、今以上、バリエーションを広げることにはできない。また、現在使用している食器（ランチプレート）はおかずの食器を手にとることができないため、現状のままで成果を向上させるの難しい。			
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了		食材費の値上がりに伴う食材賄費への一般財源からの充当額は年々増加しており、また平成31年10月には消費税が上がる事が予定されていることなどを考慮すると、給食費の値上げを検討せざるを得ない。また給食センターの建替えのタイミングで食器の変更を検討する。			

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	450,438	468,869	481,882	505,216	530,500
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	312,459	311,345	314,324	315,000
	一般財源	450,438	156,410	170,537	190,892	215,500
正職員人工数（時間数）		622.00	73.00	596.00	700.00	700.00
正職員人件費		2,550	299	2,488	0	0
トータルコスト		452,988	469,168	484,370	505,216	530,500

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報					
事務事業名		給食センター運営委員会開催事業		担当課	学校給食センター
総合計画	政策	こころ豊かに暮らせるまち		計画期間	昭和44年度～
	施策	学校教育の充実		種別	法定事務
	基本事業	健康と体力を育む教育の推進		市民協働	事業協力
予算科目コード		01-100104-05 単独	根拠法令・条例等	学校給食法，守谷市立学校給食センターの設置及び職員に関する条例，守谷市立学校給食センター運営規則	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷市の児童生徒に安全安心な学校給食を提供するため、給食センターの運営に関する事項を審議する教育委員会の附属機関。	教育委員会の諮問を受け，給食費に関すること，施設・整備等の管理改善に関すること，給食物資の購入に関すること，調理，献立等調査研究に関することを審議する。 市議会議員・学校医・学校長・PTA会長等20人で組織されている。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
給食センターの適正な運営を図る	
（参考）基本事業の目指す姿	
児童生徒の健やかな身体を育む	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

H29年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（H30年度の振り返り）	
H29年度の評価（課題）	H30年度の実績（評価、課題への対応）

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	目標値（R03）
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下					
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了					

コストの推移						
項目		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R01年度予算	R02年度見込
事業費	計	65	65	87	87	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	65	65	87	87	0
正職員人工数（時間数）		63.00	8.00	8.00	8.00	0.00
正職員人件費		258	33	33	0	0
トータルコスト		323	98	120	87	0